

「竹島の日」記念式典 竹島・北方領土返還要求運動県民大会

日 時 平成27年2月22日（日） 13:30～16:10
会 場 島根県民会館 中ホール （松江市殿町158）

主 催

島根県 / 島根県議会 / 竹島・北方領土返還要求運動島根県民会議

◇ 「竹島の日」記念式典

○ 主催者あいさつ

島根県知事

竹島・北方領土返還要求運動島根県民会議会長（島根県議会議長）

○ 来賓あいさつ

○ 感謝状の贈呈（別紙参照）

○ 竹島領土権確立隠岐期成同盟会会長あいさつ

《休憩》 (14:40 ~ 14:50)

○ 鼎談「竹島の日」条例制定10周年を迎えて

平成17年3月に「竹島の日を定める条例」が制定され、10回目の「竹島の日」を迎える。これまでの取り組みと現状の問題点について確認をしつつ、今後の解決に向けた方策を考える。

《鼎談講師プロフィール》

○ 新藤 義孝 氏 （日本の領土を守るため行動する議員連盟会長、衆議院議員）

昭和 33(1958)年生まれ。埼玉県出身。明治大学卒業。現在 6 期目。総務大臣政務官、外務大臣政務官、自民党国防部長、経済産業副大臣、衆議院決算・行政監視委員長、総務大臣、内閣府特命担当大臣（地方分権改革）、地域活性化担当、道州制担当等を歴任。現在の役職は、衆議院地方創生に関する特別委員会筆頭理事、衆議院安全保障委員会理事、自民党地方創生実行統合本部筆頭本部長代理、自民党埼玉県連会長等。

○ 藤井 賢二 氏 （島根県竹島問題研究顧問、第 3 期島根県竹島問題研究会委員）

昭和 30(1955)年生まれ。島根県吉賀町出身。広島大学卒業、兵庫教育大学大学院修士課程修了。専門は近現代日朝・日韓関係史。主な論文に、「李承晩ライン宣布への過程に関する研究」（『朝鮮学報』2002 年）・「李承晩ラインと日韓会談-第一次～第三次会談における日韓の対立を中心に-」（同前 2004 年）・「李承晩ラインと日韓会談-日韓漁業交渉の妥結-」（『年報 朝鮮学』2010 年）・「韓国の海洋認識-李承晩ライン問題を中心に-」（『韓国研究センター年報』2011 年）・「日韓漁業問題と日本の朝鮮統治」（『歴史としての日韓国交正常化』法政大学出版局 2011 年）等。

○ 下條 正男 氏 （第 3 期島根県竹島問題研究会座長、拓殖大学国際学部教授）

昭和 25(1950)年生まれ。長野県出身。國學院大學大学院博士課程修了。昭和 58(1983)年韓国三星総合研修院主任講師、市立仁川大学校客員教授を経て、平成 10(1998)年帰国。翌年拓殖大学国際開発研究所教授、平成 12(2000)年同大学国際開発学部アジア太平洋学科教授に就任、現在に至る。

専攻は日本史。第 1 期、第 2 期及び第 3 期竹島問題研究会座長。著書に『日韓・歴史克服への道』（展転社）、『竹島は日韓どちらのものか』（文春新書）等。



メ モ 欄

